

受託販売 4割増357.6億円
4年度取扱高、主要5品目好調

組合総代会



処理水放出で特別決議も

当組合は6月30日、通常総代会を塩釜総合支所で開き、令和4年度決算や5年度事業計画など8議案を原案通り可決、承認した。4年度は乾のり、カキ、ワカメ、ホタテ、ギンザケの主要5品目全てが好調で、販売事業の受託販売取扱高が前年度比37%増の357億6652万円と東日本大震災以降で最高だった。東京電力福島第一原発の処理水の海洋放出に「反対であることはいさかも変わらない」とする特別決議も全会一致で採択。任期満了に伴う役員改選では寺沢春彦組合長を再任した。任期は3年。

書面を含む総代143人が出席。4年度の事業利益は前年度比2.5倍の1億9786万円、経常利益は同1.7倍の3億5359万円。公認会計士監査への移行が義務付けられたことに伴い減損会計を行った結果、当期損失金2797万円（前年度は2億806万円の剰余金）を計上した。本年度の事業計画などを決めた通常総代会

新役員体制 (6月30日就任、任期3年)

代表理事組合長	寺沢 春彦	再	七ヶ浜支所運営委員長
副組合長理事	石森 裕治	新	石巻市東部支所運営委員長
	高橋 和志	再	大谷本吉支所運営委員長
	阿部 敏雄	再	女川町支所運営委員長
	千葉 富夫	再	宮戸支所運営委員長
	阿部 洋	再	歌津支所運営委員長
	菊地 幹彦	再	仙南支所(巨理)運営委員長
	山内 良裕	新	宮戸西部支所運営委員長
	末永 陽市	新	雄勝町雄勝湾支所運営委員長
	渥美 克之	新	谷川支所運営委員長
	行場 博文	新	志津川支所運営委員長
	三浦千加良	新	気仙沼地区支所運営委員長
専務理事	平塚 正信	再	員 外
常務理事(総務・指導事業担当)	奥田 一也	新	"
"(信用共済事業担当)	鹿又 哲夫	再	"
"(経済事業担当)	立花 洋之	再	"
代表監事	鈴木 政志	再	七ヶ浜支所副運営委員長
	鈴木 章登	再	唐桑支所運営委員長
監 事	阿部 泰正	新	表浜支所運営委員長
常勤監事	寺嶋 則雄	再	員 外

乾のりは九州有明海の記録的な不作の影響で、国内で品薄感が強まり前

年度に比べ金額が2倍超。カキも広島県など主要産地の漁場環境悪化に伴い、本県産の引き合いが集中したことから平均単価が過去最高となり金額が3割増となった。ワカメは国産表示ルールの厳格化や不安定な輸入動向を背景に平均単価が3%高。ホタテは生玉や、輸出向けの玉冷水揚げが順調に進み平均単価が32%高。ギンザケはウクライナ情勢による輸入の鈍化で国内需要が跳ね上がり、県平均の取引価格がキロ724円と平成以降で最高となった。5年度も組合員の所得向上を事業の柱に、スマート水産業やデジタル化の推進による漁家経営の安定化ほか、後継者育成に向けた対策などを講じる。信用事業を6年度に東日本信用漁業協同組合連合会に譲渡するための取り組みを進める。処理水の海洋放出に反対する特別決議では、漁業者支援に充てられる500億円の基金創設や説明会開催などの国の対応を「重く受け止める」とする一方、「将来にわたる不安を拭い去ることはできない」と強調。「風評を決して起こさない安全性の担保を図り、(国が)全責任を持って対処するよう強く求める」と訴えた。(3面に令和4年度の事業成績を掲載)

寺沢組合長に聞く

組合員の努力に感謝
止まることなく前進

昨年度の決算や事業の方向性、処理水の海洋放出を巡る対応などを寺沢春彦組合長に聞いた。



「主要5品目全てが上振れしたのは初めてのケースではないか。価格面は他産地の不振もプラスに働いたが、気候変動など厳しい海洋環境の下、これだけの数字を残せたのは組合

員の努力の賜物。感謝するしかない」

——漁船漁業など依然厳しい経営環境に置かれている組合員もいる。

「海洋環境の変化に対応した漁業の重要性はさらに増している。資源が大幅に減少し、獲れる魚が大きく変わる中、魚種転換に向けたルール作りを県と歩調を合わせながら早急に進めたい。組合員の負担をできる限り減らすため、燃油や資材などの価格高騰に対する支援も一層求めていく」

「組合員が今後も安心して浜の金融サービスを受けるための重要な施策。(譲渡日の)来年4月1日に向け、準備は大詰めを迎えている。何とか無事に完遂させたい」

——処理水の海洋放出が迫っている。安全性への懸念を示し、なお反発を続けている国もある。

「放出反対の立場であることに変わりはない。宮城の水産業は震災や原発事故による風評被害で大変厳しい状況となったが、ここまで復興してきた。何の落ち度もない組合員が不利益を決して被らず、将来にわたって安

塩釜地区支所発足

第一、浦戸、浦戸東部統合



千葉運営委員長(前列左から2人目)と渡辺支所長(同3人目)ら職員

塩竈市内にある当組合の第一、浦戸、浦戸東部の3支所が4月1日に統合し、塩釜地区支所になった。東日本大震災後に組合員の減少が続ぎ、単独で運営していくのが財政的に困難と判断した。拠点事務所は浦戸諸島への定期船が発着するマリンゲート塩釜2階に設置。塩釜市浦戸支所は出張所として残した。職員は臨時で嘱託含め7人、運営委員は10人。違いのあった漁業権行使料と販売手数料は統一した。現在の組合員数は正准合わせて165人で、震災前の平成21年度に比べて111人減った。70代以上が約8割を占め、高齢化が目立つ。統合で運営基盤や組織の強化を図る。渡辺敏支所長は「若者を呼び込むためには、魅力ある漁業の推進が不可欠。就業しやすい環境を整えていきたい」と語る。

第一はワカメ、浦戸は乾のりとカキ、浦戸東部はカキと漁船漁業が主力だった。統合により事業の幅が一気に広がった。千葉周運営委員長(前塩釜市浦戸支所副運営委員長)は「さまざまな相乗効果が期待できる。持続可能な支所運営に向け、価値観を共有しながら共に高め合っていきたい」と力を込める。

支所統合は当組合発足の平成19年4月以降、3例目。組合は28支所・3総合支所体制となった。

役員改選など承認 永年勤続者表彰も

県漁協女性連

県漁協女性部連絡協議会が5月25日、令和5年度通常総会を石巻市の石巻グランドホテルで開いた。任期満了に伴う役員改選で、会長を退任した内海や多子塩釜市浦戸東部部長の後任に副会長の三浦弘子歌津支部部長を選出した。任期は2年。事業計画の承認や永年勤続者の表彰も行った。



事業計画の基本方針は▽組織の強化と活性化▽水産物の消費拡大▽健康な暮らしと環境保全運動の推進▽漁協全利用と生活設計の推進の4点。「浜の総会で紹介される新役員

守り手」として、小中学生を対象にした第39回「みやぎの海の子」作文の募集や魚食普及活動などに取り組む。コロナ禍前の活動に戻していくことも確認した。

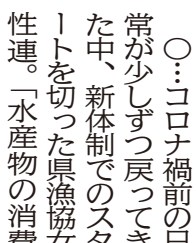
永年勤続者表彰では、齋藤節子さん（前大谷本吉支所部長、阿部まつ子さん（前石巻地区支所監事）、木村チハルさん（前網地島支所役員）、安住智伊子さん（前網地島支所役員）の4人に賞状と記念品を贈った。

総会終了後に研修会が開かれ、当組合の鹿又哲夫常務が東日本信漁連への信用事業譲渡について説明したほか、宮城海上保安部と石巻海上保安署は海難防止に向けて救命胴衣（ライフジャケット）着用を呼び掛けた。

三浦会長以外の新役員は次の通り（敬称略、か）
副会長 武田寿子（石巻市東部）赤間淳（七ヶ浜）
監査委員 阿部仲子（網地島）木村光子（巨理）
委員 梶原優子（唐桑）須藤洋子（志津川）
倉 佐藤慶子（石巻湾）
鈴木宮子（塩釜市浦戸）

活性化へ「皆で団結」

三浦弘子新会長



〇：コロナ禍前の日常が少しずつ戻ってきた中、新体制でのスタートを切った県漁協女性連。「水産物の消費活性化に向け抱負を語る。

〇：この3年余りはさまざまな行動制限で思うような活動ができなかった女性連だが、拡大など課題は山ほどある。各支部の活動の継続や拡大を支援していきたい。三浦弘子会長「写真」は組織活性化に向け抱負を語る。

〇：この3年余りはさまざまな行動制限で思うような活動ができなかった女性連だが、拡大など課題は山ほどある。各支部の活動の継続や拡大を支援していきたい。三浦弘子会長「写真」は組織活性化に向け抱負を語る。

後継者を育成 浜の活力貢献

県漁協青年部

県漁協青年部の通常総会が7月11日、仙台市太白区の秋保リゾートホテルクレセントで開かれた。令和5年度の事業計画の承認や、後継者の育成や指導も担いながら活力ある漁村づくりに貢献していくことと呼び掛けた。



寺沢組合長から賞状を受け取る須藤前部長（右）

新たに5人認定 退任者に感謝状

県漁業士制度

面などを決めたほか、昨年度まで役員を務めた功労者5人を表彰した。開会のあいさつで阿部誠二部長（谷川支所青年部）は「震災から12年がたち、後継者から漁業経営者となりつつある今こそ、青年部活動を通じて漁家経営の向上を目指し、浜の若手リーダーとして後継者の育成や指導も担いながら活力ある漁村づくりに貢献していくことと呼び掛けた。

5年度は▽組織の強化と活性化▽漁環境保全運動への取り組み▽情報組合長表彰では、役員を4期8年務めた前部長の須藤貴雄さん（志津川支所）倉青年研究会」に、寺沢春彦組合長が賞状と記念品を贈呈。いずれも1期2年の任務を果たした。

たした前委員の阿部納也さん（表浜青年研究会）、柳橋浩哉さん（石巻市東部支所漁業研究会）、手代木泰伸さん（鳴瀬支所青年部）、前監事の遠藤陽一さん（七ヶ浜支所青年研究会）の前役員4人は部長表彰を受けた。総会終了後に開かれた研修会では、県水産振興課漁業調整班の職員が「漁業権漁業」について講演。改正漁業法施行後初めて9月に県全域で実施される漁業権免許の一斉切り替え時のポイントなどを解説した。

協同組合論

北海学園大学
経済学部教授
濱田 武士

32



東京電力福島第一原発の敷地内に設置されたタンク内に多核種除去装置（ALPS）処理水がためられています。原子炉建屋内には、メルトダウンを起こした原発建屋に地下水が入り込み、それが燃料デブリに触れて汚染水となっています。その汚染水はかつて毎日400ト以上発生していましたが、現在は100ト以下に抑え込まれています。その汚染水にはさまざまな放射性物質が溶け込んでいて大変危険な状態です。それをALPSで浄化処理すると、トリウムを除く核種のほとんどが取り除かれた状態

迫る海洋放出 漁民への配慮は十分か

す。政府は、新たにタンクを設置する場所がないとして、このALPS処理水の海洋放出方針を関係閣僚会議で決定しました。この夏に実行される見通しです。

政府が海洋放出を決めた理由は、ALPS処理水の処分方法として他の方法と比較して合理的だとしたからです。タンクにためられたALPS処理水はトリチウムが高濃度な状態で含まれています。しかし、トリチウムは水に近い放射性物質なので、それを安全な状態にまで希釈して海に放水すれば、環境への影響が避けられると判断したわけですが、その一方で海洋放出による社会的影響は避けられないとしています。

政府が海洋放出を決めた理由は、ALPS処理水の処分方法として他の方法と比較して合理的だとしたからです。タンクにためられたALPS処理水はトリチウムが高濃度な状態で含まれています。しかし、トリチウムは水に近い放射性物質なので、それを安全な状態にまで希釈して海に放水すれば、環境への影響が避けられると判断したわけですが、その一方で海洋放出による社会的影響は避けられないとしています。

協同組合セクターも海洋放出について反対の声を上げてきました。これに対して政府は漁民に配慮して説明を繰り返すなど真摯（しんし）な態度をとっています。しかし政府や東京電力の配慮の仕方には問題点があります。

ゴルフ場などの開発、化学工場、畜産施設の立地などの計画が立ち上がったのは漁民が不安な声を上げて紛争になってきました。水環境に影響を与え、ALPS処理水の海洋放出についても同じ構図が見えてきます。

ドは海への影響は少ないと、問題があれば対処するとして、公害協定が結ばれたり、補償金が支払われたり、基金が積み立てられたりしてきました。そのことで漁民は一時的に救われたかもしれませんが、しかし、こうした開発は漁民たちの生業よりも国や企業の利益を優先するものであるゆえ、生業として営む漁民のほかに傷をつけるものとなりました。反対してきた漁民たちにはどこか屈辱感が残るのです。

ALPS処理水の海洋放出についても漁民から理解が得られないのは当然のことなのです。

新規定者と退任者ら

令和5年度「県漁業士退任・認定式」が6月6日、仙台市青葉区のハーネル仙台で開かれた。指導4人、青年1人の新規漁業士計5人に認定証を交付したほか、4年度で退任した指導漁業士3人に感謝状を贈呈した。

小野寺和義県漁業士会会長、池田敬之副知事、長谷川新水産林政部副部長ら関係者が出席。退任したカキ・ホヤ・ホタテ養殖業の小野寺敏一さん（志津川支所）は「連携を密にすることが大事。



令和5年度宮城県農業士・漁業士退任・認定式



令和5年度から7年度までのJF共済3ヵ年計画では、生命・建物の保障に対してJF共済を幅広く提供する仕組み、およびJF共済でカバーできない補償に対する保険代理業の取り組みにより、漁業者の保障をJF共済でしっかり守ってまいります。

また、漁業やJF事業運営を支えられるように取り組んでまいります。JF共済では、浜の共済責任を全うするために、これら取り組みを行い共済事業収入の維持・拡大を図り、JF共済の健全性・信頼性の強化に努めます。

重点取り組み施策としては、JF組合員・漁家世帯員および地域住民に対して、JF共済を広く浸透させ、一人ひとりに寄り添った保障の提供を行います。

浜の笑顔を共済とともに JF 共済 3 ヵ年計画スタート

JFみやぎの具体的な取り組みとして、組合員を中心に一人ひとりに満足で納得のいく保障を提供できるよう「浜のあんしんサポート運動」を展開し、漁村地域で活動するJF組合員・漁家世帯のご家族および地域住民の生活・福祉の向上を目指す、すべての組合員に寄り添い、一人ひとりに寄り添った保障を提案する活動を積極的に展開します。

特に、生命共済チョーの万全な保障を提供するため、保障の見直し・必要保障の提供の取り組みを強化します。

契約内容確認を通じた医療や介護共済など最新保障の提供、保障点検活動による生保など他社からの呼び戻し運動など積極的に展開してまいります。

組合からのお知らせ

信用共済部



豊かな漁場維持 仙南支所(亘理)

濱飯 勇気 (はまいい・ゆうき＝22、亘理町)
臨時職員として2年間と短い期間でしたが働かせていただきました。年々地区の漁獲量が減少したり、水揚げされる魚介類の種類が南方系になるなどの環境の変化に、苦労しながら適応していく組合員さんの姿を見てきました。今後も安定して漁業に従事できるような豊かな環境づくりや日ごろのサポートを心掛け、誰からも真っ先に頼られるような職員になれるよう頑張ります。



経験積み重ねて 石巻地区支所

船橋 美乃 (ふなはし・みの＝25、石巻市)
私には未熟な点が多く、職場の方に助けていただくことがあり、まだまだ課題があります。日々の業務や職場の方の組合員の方に対する対応を参考にし、経験を積んでいくことで信頼を得られるように努めていきたいです。一つ一つの業務が組合員の方が安心して漁家経営していただくためにつながっていくことを頭に入れ、組合員の方をサポートできるような職員を目指し、業務に取り組んでいきます。



責任自覚し向上 唐桑支所

吾妻 達弥 (あづま・たつや＝29、気仙沼市)
目まぐるしく変化し続ける海洋環境に適応するために行動し、自らの能力向上や漁業の知識、技術の習得に努めます。組合職員として自らの役割と責任を自覚して業務に当たること、先輩職員の方々からはもちろん漁業者の皆さんからも信頼していただけるような職員を目指します。



臨機応変に対応 歌津支所名足出張所

阿部 凜叶 (あべ・りんと＝19、南三陸町)
今後の漁業の発展に貢献できるような職員になりたいと考えています。そのためには、現場での仕事も増えてくるので漁業者の方々との交流を深め、日々の職務を通して、事務所の先輩方の良いところを見習い、さまざまなことを学んでいきます。漁業者あつての私たちの職務だと思うので、漁業者の方々の水揚げを増やすことに貢献できるよう、何事にも積極的に取り組み、経験を積んで、あらゆることに臨機応変に対応できるような職員になります。



報連相を心掛け 塩釜総合支所販売課

早坂 渉 (はやさか・わたる＝23、塩竈市)
5年間のアルバイトと1年間の臨時職員として主に乾のりに関する仕事をしてきました。まだ覚えることがたくさんあるので先輩方に聞いたりしながら日々学んでいきます。職場内での「報連相」を心掛け、一つ一つの業務を大切にしながら色々な経験をしていきます。そして与えられた仕事に全力で取り組み、先輩方や組合員の皆さんの役に立てるように頑張っていきます。いろいろな人に頼られる職員を目指します。

当該事業年度および直前3事業年度の事業成績ならびに財産および損益の状況

(令和4年度「業務報告書」から。単位：千円)

区分	項目	令和元年度	2年度	3年度	4年度(当期)
財務	事業利益	85,257	△2,594	79,450	197,863
	経常利益	225,974	114,474	203,078	353,596
	当期剰余金	252,318	113,647	208,065	△27,978
	総資産	93,653,142	80,950,970	85,962,962	89,013,018
	純資産	5,931,360	5,893,327	5,960,700	5,502,713
	単体自己資本比率	14.96%	16.65%	16.15%	14.54%
信用事業	貯金	83,404,207	70,667,701	75,388,250	78,491,069
	預け金	69,239,507	57,467,215	62,186,095	65,707,350
	貸出金	12,567,182	12,082,172	12,098,000	10,872,125
共済事業	長期共済保有高	57,346,400	53,335,300	50,397,900	48,136,000
	短期共済契約高	49,406,160	45,800,000	45,498,160	47,671,570
購買事業	石油類供給高	2,868,065	2,555,628	3,155,998	3,666,795
	資材類等供給高	4,317,262	4,203,221	3,740,872	4,514,884
販売事業	受託販売取扱高	29,129,108	24,701,227	26,054,993	35,766,528
	買取販売高	1,252,709	1,343,396	617,829	632,761

ニューフェイス

「みんな職員になりたい!」

当組合は4月1日、11人の新入職員を迎えました。希望や決意を胸に配属先で一生懸命仕事を覚えています。皆さん、よろしくお願いします。(名前の読み＝年齢、出身地)



常に笑顔で精進 本所経済事業部販売課

梶原 凜 (かじわら・りん＝18、石巻市)
毎日のコミュニケーションを大切にできて、明るく笑顔が絶えない職員になりたいです。社会人になり、慣れない生活に不安がありましたが、周りの皆さんが笑顔で接してくれたおかげで気持ちを楽にすることができ、笑顔は人を安心させるものなのだとあらためて実感しました。私自身、幼いころから今でも常に笑顔を心掛けているので、今後もそれを生かせるように日々精進していきたいです。



海の豊かさを守る 石巻総合支所販売課

石川 漱 (いしかわ・そう＝18、美里町)
私は美里町という農業の地で生まれ育ちました。野球推薦で気仙沼市の私立東陵高校に入学し、初めて港町に行き、そこで漁師さん方と触れ合い、少しずつ漁業に興味を持ち始めました。学校の授業の一環でSDGsの一つ「海の豊かさを守る」について調べました。そこで漁業の厳しさや楽しさを知り、この仕事を見つけ興味を持ちました。社会人1年目なので分からないことだらけですが、少しずつ役に立てるよう仕事に取り組めます。そして持ち前のコミュニケーション能力を生かし、職場の先輩方や上司の方々から信頼してもらえるような職員になりたいです。



頼られる存在に 志津川支所志津川魚市場

渡辺 終真 (わたなべ・とうま＝22、南三陸町)
頼りがいがある職員を目指します。現場の雰囲気と業務に少しずつ慣れてきましたが、まだ私一人で行える業務は少なく手持ち無沙汰になることがあり、大変歯がゆい思いをしています。まだ私にできることは少ないですが、一日でも早く皆さんから頼って良かったと思える職員になれるよう、先輩や上司の方々の指導の下、日々の業務に励んでいきます。



信頼関係深める 石巻金融センター金融共済課

西條 博登 (さいじょう・ひろと＝22、仙台市)
組合員の方々に信頼される職員になりたいです。JFは組合員の皆さんとの支え合いによって運営されている団体であり、組合員の皆さんとの相互の信頼が最も重要なことだと考えています。そのために日々の業務を正確、迅速、丁寧に行うことはもちろん、まずは積極的にコミュニケーションを取って皆さんに知っていただけるように頑張ります。



悩みに寄り添う 石巻湾支所

小野 拓真 (おの・たくま＝22、角田市)
周りから頼っていただける職員になりたいです。組合員の方々と常にコミュニケーションを取ることで小さな悩みでも寄り添い解決していきたいです。まだまだ分からないことが多いのですが、分からないことは周りの方々からサポートしていただきながら仕事に取り組み、宮城の水産物をより多くの人に広めることができるよう努力していきたいです。



一つ一つ全力で 本所総務部人事課

平家 妃菜 (ひらか・ひな＝23、石巻市)
信頼され、そして頼られる職員になりたいです。私が所属する人事課は、職員の方との信頼関係が非常に重要な場所であると考えています。職員の皆さんとの日々の関わりを大切にしながら、自分のすべきことを一つ一つ丁寧に全力で行っていきます。早く仕事を覚えて、皆さんの役に立てるように頑張ります。そして、組合に貢献できるよう努力していきます。

震災後最高54.9億円

口溶けよく単価6割高

今季の県産乾のり「みちのく寒流のり」は国内最大産地の九州・有明海の大不作を受け、活発な入札が繰り広げられた。共販実績は数量が前季比29%増の3億3826万枚で、1枚当たりの平均単価が同62%高の16円23銭。記録的な高単価を付け、金額は同2.1倍の54億9142万円と東日本大震災後最高だった。

乾のり

今季入札は昨年11月22日から今年5月12日まで全13回にわたって当組合塩釜総合支所・乾のり集出荷所で開催。出だしの秋芽網は不調だったが、



3月に入り発生した色落ちと同月下旬に回復。目標の4億枚に届かなかったものの、栄養塩不足に悩まされた令和3年度を7586万枚上回り、計画の3億5千万枚に迫る販売数量を達成した。

少雨や断続的な赤潮で色落ちが続出した有明海の大不作を受け、単価は記録的な高騰を見た。1月13日にあった今年初の入札では平均18円39銭と、前回の12月27日より4割近く上昇。続く1月27日は24円50銭と初入札の2.7倍まで跳ね上がり、2月10日に今季最高の26円84銭を付けた。今季平均の16円23銭は昭和54年度(16円51銭)に次ぐ過去2番目の高さ。コンビニのおにぎりに仕向けられる有明海産の代替として、口溶けと味の良さが高く評価された。販売金額は震災後最

高だった平成28年度(52億1064万円)を2億8078万円上回った。全国漁連の事業推進協議会のまとめによると、国内の今季販売数量

は前季比24%減の4350万枚。過去に類を見ない大減産となった。のりメーカーは値上げを余儀なくされ、消費者離れが進む懸念もある。

佐藤宏己塩釜総合支所長は「極端な色落ちさえなければ来季も量を確保できる。単価は今夏の消化次第」とした上で「のり生産は海況や天候に左右されやすいが、自然に頼るばかりではダメ。生産者が切磋琢磨(せっさたくま)して消費者に高品質なものを届けなければ」と強調する。

肉厚シャキシャキ ワカメ 安全・安心も提供



県産養殖ワカメの入札会が2～5月、気仙沼市

の当組合わかめ流通センターで全11回にわたって開かれた。2月21日の初入札会で本所わかめ・こんぶ部会の及川文博部会長(歌津支所)は「昨シーズンと比べて色も伸びもいい。肉厚でシャキシャキした食感が自慢。揚げ物や炒め物との相性も抜群」とPR。穴開きなどでシーズン後半に数量が伸びなかったが、需要は高かった。

JF全漁連東北事業所のまとめによると、今季の共販実績(5月10日現在)は数量が310ト(同2%減)2億3477万円(同2%増)758円(同4%高)。生は2828ト(同3%増)2億3955万円(同4%増)、85円(同1%高)だった。

当組合の生食用むき身カキ(鮮カキ)の今季出荷が6月末で終了した。

外食回復で高単価 カキ 脱炭素へ業界一丸



初出荷に向け殻むきに励む石巻湾支所の組合員ら

一部で死滅があったが、シーズンを通しておおむね順調な生産が続いた。共販実績は数量が1527ト(前季比15%減)、金額が30億7439万円(同28%増)。広島、岡山両県の減産やコロナ禍で低迷していた外食需要の回復などを背景に引き合いが強くなり、10ト当たりの平均単価は2万1300円(同

今季は高い海水温などの影響で成育が遅れ、県が指針とする解禁日より約2週間遅らせて昨年10月11日に出荷をスタート。当組合は今季から、出荷用プラスチック容器の「水平リサイクル」に着手した。使用済み容器を入札会場で回収して製業者に渡し、破碎後に原料のポリプロピレンと配合し再利用する試み。半永久的に繰り返し使うことで二酸化炭素(CO₂)の削減効果が高まる。業界が一丸となって地球温暖化や海洋酸性化への対策を進めていく。

ギンザケ 広がる脂のうま味 引き合い依然強く

県産養殖ギンザケは今季も順調な水揚げが続いた。魚市場では天然魚の入荷が不安定な中、今や花形的存在。すしネタや

刺身、加工原料として買受人の関心も高かった。今季の初水揚げは3月3日。海水温が高めに推移して餌への食い付きが

良く、例年より約10日早かった。コロナ禍で進んだ内食需要の高まりを背景に量販店の販売が堅調で、外食向けなど業務用需要も回復。原料の安定確保を目指す冷凍加工業者からの引き合いはシーズンを通して強かった。

多彩な味わいに舌鼓 仙台で4年ぶり祭り

ホヤ

県産ホヤの消費拡大を目指す「ほや祭り2023」が5月3日、仙台市青葉区の勾当台公園市民広場で開かれた。コロナ禍の影響で開催は4年ぶり。ホヤの唐揚げや焼きそば、炊き込みご飯など多彩なメニューが並び、来場者を楽しませた。当組合や県、東北経済連合会など者でつくる宮城けんき市実行委員会(会長・寺沢春彦組合長)

の主催。県内の飲食店や水産加工会社、生産者らが構えた約30のブースには、ホヤをはじめとした県産水産物の魅力を堪能しようという人たちが長蛇の列ができた。ホヤを使った料理ではピザやカレーパン、春巻き、カヌレ、ビスケットといった変わり種も用意。鮮度管理を徹底した昨年6月誕生の地域ブランド「ほやの極み」の販売

や、朝獲れ殻付きホヤの釣り体験も好評だった。みやぎ銀さけ振興協議会は漬け丼や切り身、スモーク加工品などで活じめブランド「みやぎサーモン」をPR。カキのブースも人気だった。お笑い芸人や地元アイドルはステージを披露し、盛り上げに一役買った。会場で販売されたホヤ料理22品のうち、最もおいしいメニューを来場者

が投票で決める「ほやレシビグランプリ」では、最高賞の金賞に水月堂物産(石巻市)の「ほや酢明ごはん」が選ばれた。来場者数はコロナ禍前の令和元年並みの1万1163人(主催者発表)だった。東京電力福島第一原発事故を機に、県産ホヤの7割超を出荷していた韓国で輸入禁止措置が続く中、国内での販路拡大につなげていく。



選別作業を行う女川町支所の組合員ら(5月)



鏡開きを行う寺沢春彦組合長(左)と村井嘉浩知事(左から3人目)ら

ホヤグルメなどを求める来場者でにぎわう会場